

AIによる波状攻撃！マンパワーで対抗できる…？

Webサイト診断をAIで内製化

サプライチェーンリスクに備える方法

登壇者紹介



株式会社エーアイセキュリティラボ

事業企画部 ディレクター **阿部 一真** (あべ かずま)

新卒でNTTデータに入社し、Salesforceビジネス推進部門でコンサルティングセールス・カスタマーサクセスを経験。

その後、AIベンチャー企業・SaaSスタートアップ企業にてCS責任者およびプロダクトマネージャー・事業統括責任者を歴任し、エーアイセキュリティラボに入社。

現在はCXチームでの活動に加え、新規プロダクト企画・海外事業展開など全社横断プロジェクトにも携わる。

あらたな答えを、つぎつぎと。

変化の激しいサイバーセキュリティの世界。

私たちは、未知の課題が生まれるたび、培った知見と経験・実績をもとに、「あらたな答え」を世の中に提供し続けていきます。

世界も驚くような、技術の力で。

そして、サイバーセキュリティの進化を通して、人は、人にしかできない、創造性を活かした仕事に注力できる、社会の進化にも貢献していきます。

誰でも簡単に

プロさながらの高度な
脆弱性診断を

 AeyeScan



AIによる波状攻撃！マンパワーで対抗できる…？

Webサイト診断をAIで内製化

サプライチェーンリスクに備える方法

2025年を振り返ると…

ランサムウェアの被害事例がニュースを賑わせた

大手保険代理店

およそ510万件にのぼる
個人情報漏洩の可能性

大手飲料メーカー

製造ライン・商品出荷が停止
個人情報漏洩の可能性も

大手オフィス用品ECサイト

業務停止・情報流出の可能性
提携他社への影響も

大手商社

クリニック

大手小売業

クラウドシステム開発会社

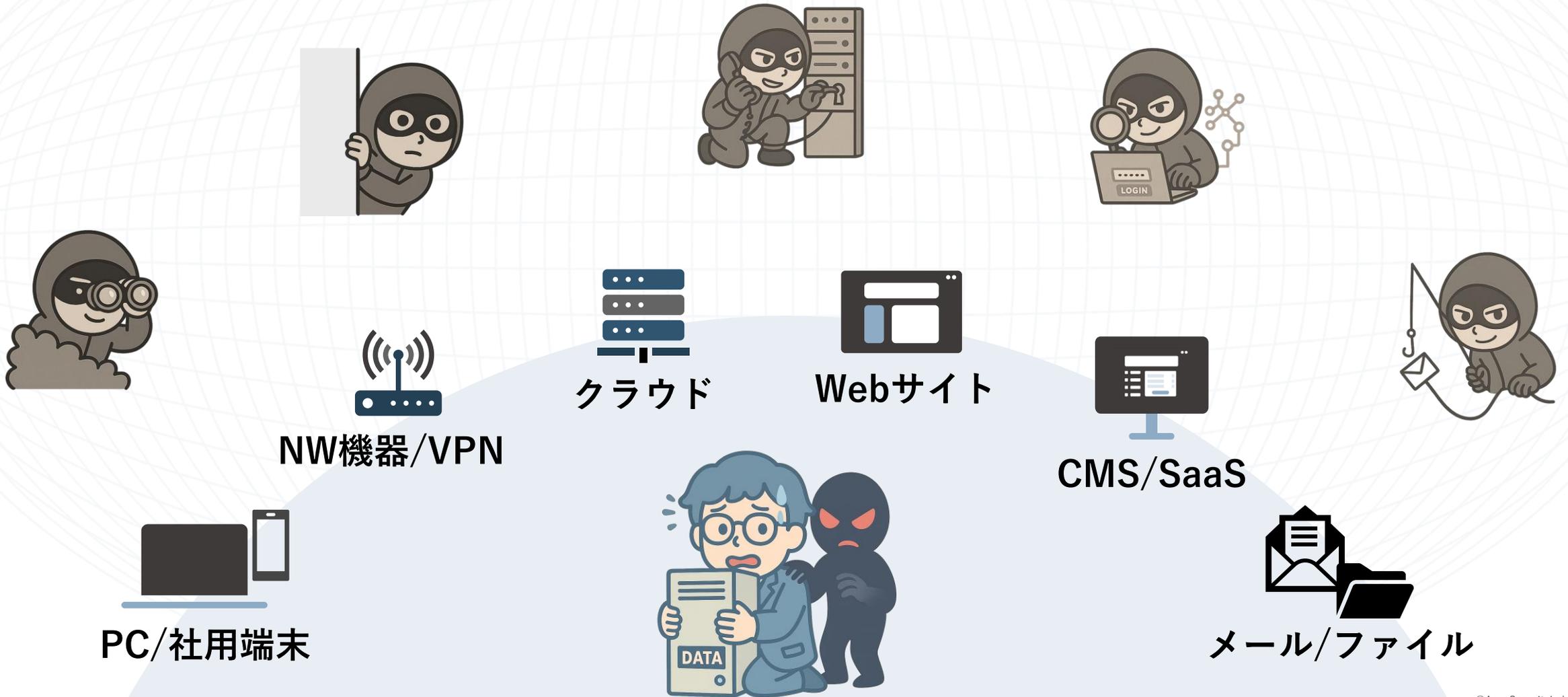
総合物流企業

私立大学

⋮

この他にも多くの事例が発表されており、被害は後を絶たない状況

多様化するランサムウェアの「侵入経路」



攻撃手法はAIにより高度化されている

攻撃者



365日24時間

AIがWebサイトの「未修正の脆弱性」を自動で探索

企業



年に1回

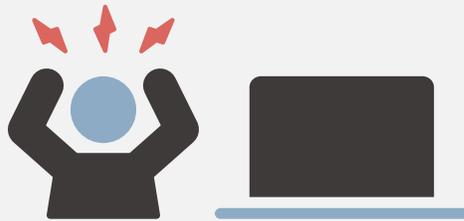
自社のWebサイトに脆弱性診断を実施

常に攻撃してくる相手に、年1回の脆弱性診断では太刀打ちできない

従来の脆弱性対策のやり方を変えなければならない

年1回の
チェックのみ

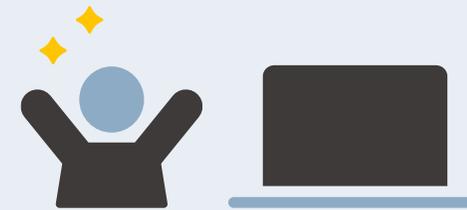
診断は
外部委託中心



リードタイムが長く
攻撃のスピードに追従しづらい

攻撃者と同じ
スピード感

社内で
いつでも診断



脆弱性の有無を常時把握し
必要に応じて対応できる

24時間365日体制の脆弱性診断を、内製化で実現することが望ましい

脆弱性診断の内製化は「自分で自分の身を守る」手段

外部委託のみ

診断画面・診断回数が増えるほど
コストもドンドン膨らんでいく

スケジュール変更・要件変更など
柔軟な対応が難しい

社内にナレッジが蓄積されない

日常の対策はもちろん
緊急時の対応も不安…



内製化も取り入れる

コストを抑えながら
診断範囲を広げ、診断頻度を高められる

社内調整さえできれば
スケジュール・要件も臨機応変

診断自体のナレッジはもちろん
セキュア開発の知見/意識もレベルアップ

日頃からやっておけば
リスク管理はバッチリ



脆弱性診断って社内でできるの？

| 脆弱性診断を自動化・内製化するときを考えること

「内製化できればいいんだけどな…」



診断の品質を維持
できるだろうか？

診断員を育成・確保
できるだろうか？

コスト(費用・時間)
を削減できるか？

| 脆弱性診断を自動化・内製化するときを考えること

診断の品質を維持
できるだろうか？

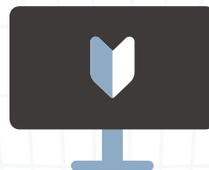
プロ級の機能・性能



誤検知・過検知が少なく
外部委託（手動診断）に近い性能

診断員を育成・確保
できるだろうか？

誰でも使える操作性



ツール習得コストがかからず
すぐに・簡単に利用できる

コスト（費用・時間）
を削減できるか？

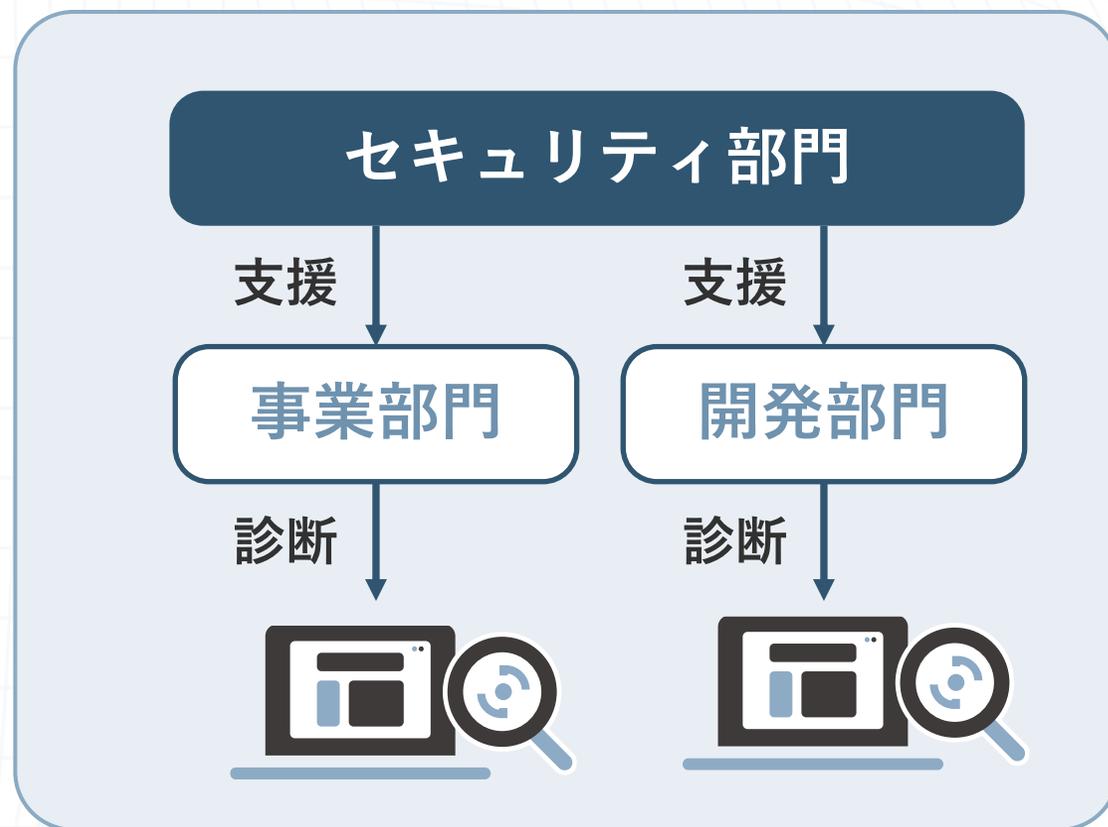
利用範囲・回数が無制限



画面数やサイト数に制限がなく
いつでも・いくらでも使える

診断内製化を進めるポイント

→ セキュリティ部門が「支援・管理する」体制への進化が必要



| 事業部門・開発部門が、自分たちで診断をするようになると…

業務・サービス・アプリに
詳しい担当者が「直接」
診断できれば…



精度が上がる

セキュアなサービス開発・運用・提供

セキュリティ部門だけでは
受けきれなかった診断も
各部門で診断できれば…



網羅性が上がる

開発プロセスの中で
早め・小まめに診断して
手戻りを防げれば…



納期に間に合う

健全な開発体制・PJ



**攻撃者がAIを使っているのだから
こちらもAIで対抗だ！**



生成AI時代の脆弱性診断なら

AeyeScan



クラウド型Webアプリケーション
脆弱性検査ツール

国内市場シェア

No.1※



有償契約
300社以上

※富士キメラ総研調べ「2025 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」
Webアプリケーション脆弱性検査ツール（クラウド）2024年度実績

※ITR調べ「ITR Market View：サイバー・セキュリティ対策市場2025」SaaS型
Webアプリケーション脆弱性管理市場：ベンダー別売上金額シェア（2024年度実績）



スキャン登録

結果レポート



自動診断



01

高精度なAI活用

巡回精度が高く
画面遷移図で見てわかりやすい

02

学習コストゼロ

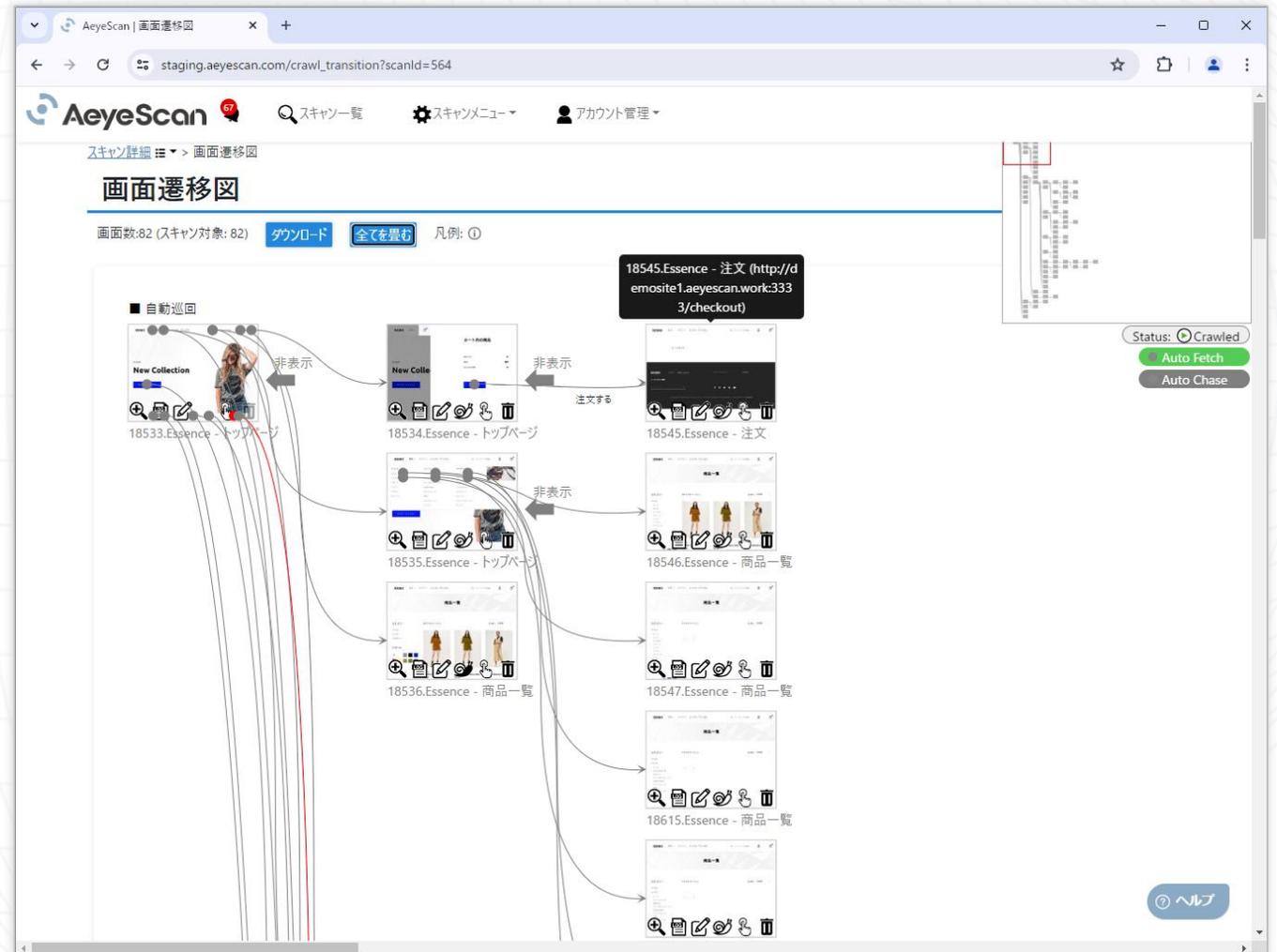
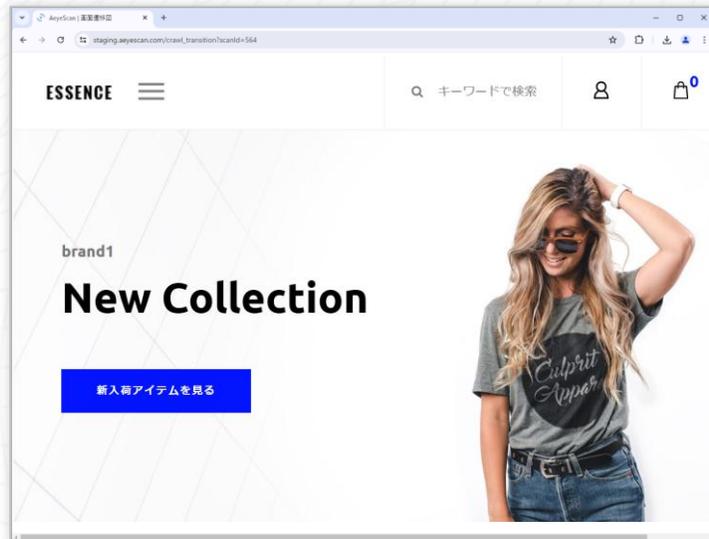
開発やセキュリティの
知識がなくてもすぐに使える

03

業界標準対応

外部委託と遜色なく
内製化が可能

巡回時に、自動で画面遷移図を生成



結果がわかりやすく、すぐさま修正作業に取り組めるレポート

AeyeScan

Web-ASM | スキャン一覧 | スキャンメニュー | 組織設定

スキャン一覧 > スキャン詳細 > スキャン結果(カテゴリ)

スキャン結果(カテゴリ)

● 会社概要アップデート (<http://demosite1.aeyescan.work:3333/>)

レポートダウンロード

Severity	Count
Critical	11
High	0
Medium	23
Low	1
Info	17

● OWASP TOP 10の結果

- > A1:2017-インジェクション: 11件
- > A2:2017-認証の不備: 1件
- > A3:2017-機微な情報の露出: 1件
- > A4:2017-XML 外部エンティティ参照(XXE): 1件
- > A5:2017-アクセス制御の不備: 0件
- > A6:2017-不適切なセキュリティ設定: 17件
- > A7:2017-クロスサイトスクリプティング(XSS): 18件
- > A8:2017-安全でないデシリアライゼーション: 1件
- > A9:2017-既知の脆弱性のあるコンポーネントの使用: 1件

ヘルプ

概要 | 脆弱性情報 | 詳細ログ | 再スキャン実行

クロスサイトスクリプティング

スキャン情報

81. 会社概要アップデート (<http://demosite1.aeyescan.work:3333/>)

対象ページ

1777.Essence - 新規登録 (確認) (<http://demosite1.aeyescan.work:3333/register>)

画面遷移図で表示

深刻度

Medium

CVSS: 5.1 (CVSS:4.0/AV:N/AC:L/AT:N/PR:N/UI:A/VC:L/VI:L/VA:N/SC:N/SI:N/SA:N)

スクリーンショット

The left screenshot shows a login form with fields for 'メールアドレス' (Email Address) and 'パスワード' (Password). The right screenshot shows a registration form with fields for '氏名' (Name), '性別' (Gender), '年齢' (Age), 'パスワード' (Password), '確認パスワード' (Confirm Password), 'メールアドレス' (Email Address), and '電話番号' (Phone Number). A blue arrow points from the 'パスワード' field in the login form to the 'パスワード' field in the registration form.

ミズノ様の場合

内製化前の状況

- 外部公開サイトは定期的診断するセキュリティポリシー
- 全ての診断を外注するのはコスト観点で不可能
- 特定スキルを持つ社内人材の工数にも限りがある…

不安ポイント

自分たちで使えるツールでの内製化ができるか



内製化にあたっての不安・懸念

- 脆弱性診断の専門家ではないメンバーでも使いこなせるツールは本当にあるのか…
- 「簡単に使える」ツールであっても、品質や性能がイマイチだったら意味がないよな…

ミズノ様の場合

内製化に一步を踏み出せた理由

実際に色々なツールを使ってみる中で
専門知識のない社員も使えそう
な操作性のツールに出会えた！

診断を外部委託した際の結果と突合してみても
外部診断と同等レベルの診断結果
を得られるツールもあることが分かった！

開発ベンダーと一緒に「診断→修正→チェック」

当初目標だった網羅的な診断も実現できた

| AeyeScanが選ばれている理由



誰でもかんたん操作



開発やセキュリティの知識がなくても、
トレーニングなしで診断可能。



AIによる自動診断



圧倒的な巡回精度で
24時間自動で診断。
画面遷移図で状況を可視化。



わかりやすいレポート



各種ガイドラインに準拠した
プロ仕様のレポート出力、
日本語と英語に対応。

| AeyeScanが選ばれている理由

誰でも使える操作性

×

プロが認める機能・性能

さまざまな企業さまに導入いただいております

ユーザー企業

人材・教育



workport

メディア



インフラ



製造



SaaS



金融



エンタメ



SI・IT企業



セキュリティ企業



生成AIを活用したWeb-ASM機能で Web資産の把握・定期監視を実現

Web-ASMの実施ステップ

1
攻撃面の
発見



Web-ASM機能

自社が保有している
ドメイン一覧を抽出

2
攻撃面の
情報収集



自動巡回

未把握のドメインを
巡回対象に追加

3
攻撃面の
リスク評価



脆弱性診断

管理対象の全ドメインに
脆弱性診断を実施

ビジネス観点 & 技術観点でリスクを評価

サイト用途

Medium

- ・ ECサイト
- ・ 製品情報サイト
- ・ サービスサイト
- など

Low

- ・ ブログ系サイト
- ・ 外部SaaSサイト
- ・ テストサイト
- など

保持データ

High

- ・ 個人情報
- ・ クレジット情報
- など

簡易スキャン

Low

- ・ TLS暗号スイートの不備
- ・ HTTPSが強制されていません
- ・ Cache-Controlヘッダの不備
- など

Info

- ・ 期限切れ間近のサーバ証明書
- ・ Referrer-Policyヘッダの不備
- など

AeyeScan とあわせて

より網羅的な脆弱性診断とリスクマネジメントが可能に！

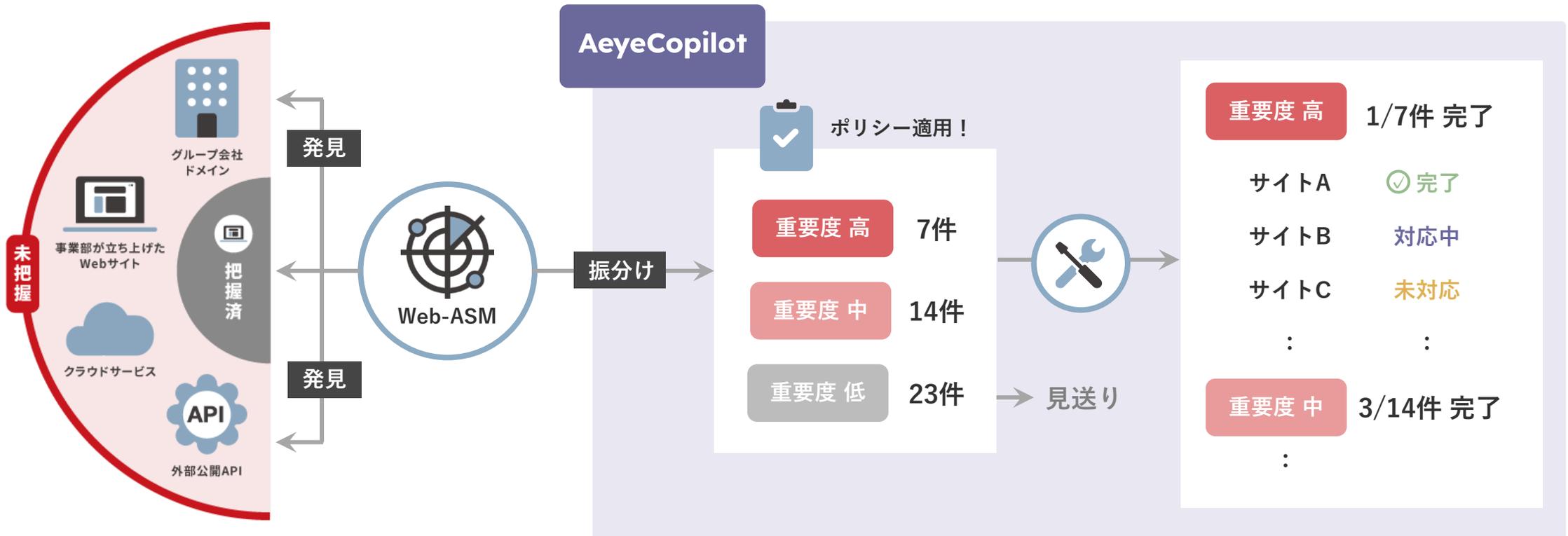
運用は楽に、セキュリティは強く AeyeCopilotで継続的な脆弱性管理を

発見・可視化

評価・分析

診断・修正

管理・報告



AeyeScanの導入を検討してみませんか？

操作性の確認、実際に利用してみたい方へ

AeyeScan の 無料トライアル

トライアルにかかる費用は不要。実際の操作性はどうか？
またどのように脆弱性が発見されるのか？
などの疑問は無料トライアルで解消しましょう。

無料トライアルの申し込み



お見積りの希望・導入をご検討している方へ

AeyeScan への お問い合わせ

お見積りの希望・導入をご検討してくださっている方は
お問い合わせフォームよりご連絡ください。
当日もしくは遅くとも翌営業日にはご連絡を差し上げます。

お問い合わせフォーム



オフラインイベントも是非お申込みください！

AeyeSecurityLab

オフライン
開催

触って試して専門家に相談できる！

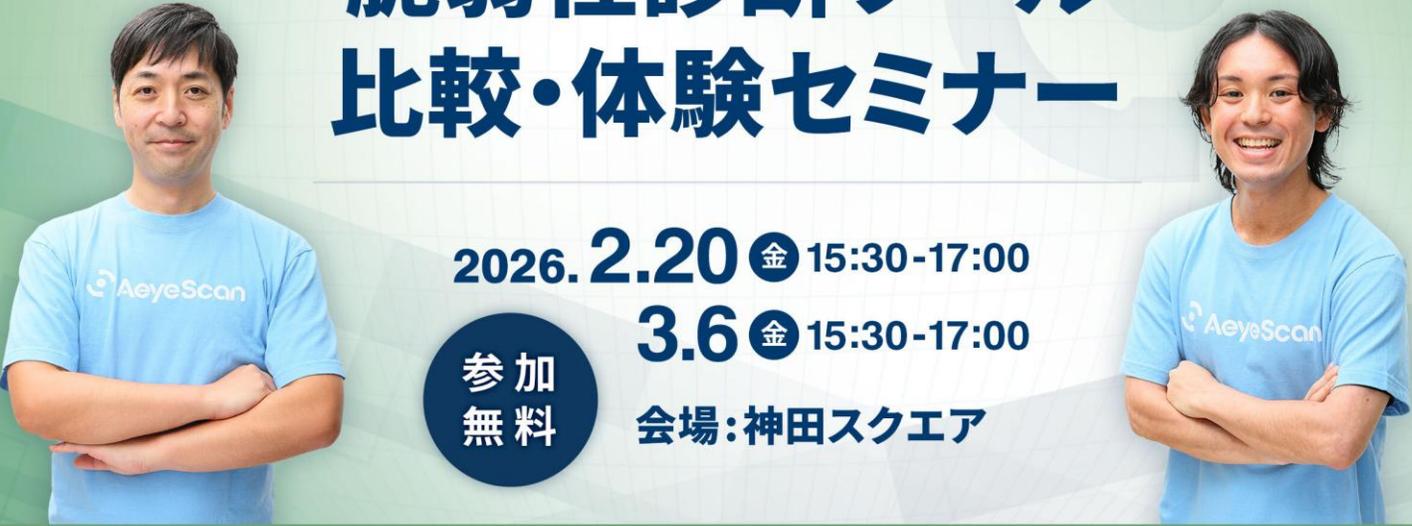
手動
診断体験
あり

**脆弱性診断ツール
比較・体験セミナー**

2026. 2.20 金 15:30-17:00
3.6 金 15:30-17:00

参加
無料

会場: 神田スクエア



定期開催中！

AeyeScanがよく分かるデモ動画・セミナー

AeyeScanを
検討してみたい方へ

開発を止めない

脆弱性診断

内製化を強力にサポートする

AeyeScan デモ動画



AeyeScanがどんなものか知りたい方に、
デモを交えてわかりやすくご紹介。
まずは気軽に使い勝手をチェック！

デミセミナーの日程を確認

AeyeScanの操作を
体験してみたい方へ

SEMINAR

脆弱性診断を無理なく

社内で実施できる

AeyeScan体験セミナー

2月の日程



実際の操作を通して、一連の機能を体感。
導入前の不安や疑問をまるごと解消。
“わからないまま”をなくすセミナーです。

ハンスオンセミナーの日程を確認

セキュリティ対策に
お悩みの方へ

最新セキュリティ情報をお届け

ウェビナー

毎月開催

気軽に学べる
無料セミナーです！



最新の事例や対策ノウハウをテーマ別に紹介。
月替わりで学べる無料ウェビナーを開催中。
お気軽にご視聴いただけます！

ウェビナーの日程を確認

